

令和 2 年 6 月 15 日現在

機関番号：32682

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2015～2019

課題番号：15H03196

研究課題名(和文) 中国伝統演劇・芸能文化の域内・域外における、成立と伝播・変容に関する総合的研究

研究課題名(英文) A General Study of Expansion and Diffusion of Chinese Traditional Drama and Performing Arts inside and outside China

研究代表者

福満 正博 (Fukumitsu, Masahiro)

明治大学・経営学部・専任教授

研究者番号：60165313

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 6,600,000円

研究成果の概要(和文)：福満は、安徽省貴池の儺戯の「薛仁貴征東伝」の劇本を分析して、単純な形式の齊言体と、複雑な形式の楽曲体が自由に入れ替わることを明らかにした。また収集した「劉文龍」の多くの劇本を文字化し、3・3・7の単調な齊言体・儺戯調の版と、中に「高腔」を含む版と、楽曲体で構成されている版の三層に分かれることを明らかにした。また1950年代に中国全土の各省の戯曲研究所が調査した劇種・劇目を発掘して、全劇目を発表した。

加藤は、京劇・崑劇・「明清楽」に着目して関係者の聞き取り調査を行い、国際的なシンポジウムなどの研究活動も行った。また、明治大学東アジア研究所を通じて、数回学内で京劇などの公演を行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の学術的意義として、齊言体と楽曲系の演劇が自由に入れ替わることができるのであれば、中国演劇の歴史も再度見直す必要が出てきた。宋・金・元の時代にも齊言体の戯曲の上演が行われていた可能性も指摘できるようになった。また、齊言体・高腔系・楽曲系の三層が、同じ「劉文龍」曲の中にあるので、研究をさらに続けられれば、南戯の歴史に新しい光をもたらす可能性が出てきた。

また、中国人の学者を招いて国際的なシンポジウムを開いたり、明治大学で京劇・崑劇の上演会を開いて日本人に中国演劇の理解を深めてもらったりした。本研究は、単に座学の研究に終わるだけでなく、中国演劇を研究の成果を社会に還元するよう努力もした。

研究成果の概要(英文)：Fukumitsu is studying Nuo opera of Guizhou. First I studied one Nuo opera, “Xuerengui Zhengdongzhuan”. The rhythm of words in this are monotonous phrases is like 3,3,7,7 (Shizanti). Traditional Chinese Drama has two type of verse. One is called “Qupaiti” Opera. Another is called “Bangzi” “Shizanti” is older than “Bangzi”, and probably is the origin of “Bangzi”. So, The distance of “Shizanti” and “Qupaiti” is not so far as we thought. In Guizhou of Anhui province, I collected many scripts of “Liu wen long” opera. almost villages has own version of “Liu wen long” opera. I studied these scripts, and discovered that they can divide three groups. One is “Shizanti”, one is “Qupaiti”, and one is “Gaoqiangti”.

Kato studied “Jingju”, “Kunju”, and “Mingqingyue” in Japanese. And he held symposiums on this theme. He also held performances of “Jingju”, “Kunju” in Meiji university Hall.

研究分野：中国文学

キーワード：安徽省貴池儺戯 儺戯調 安徽貴池儺戯高腔 安徽貴池曲牌 京劇 崑曲 明治大学東アジア研究所 齊言体

## 1. 研究開始当初の背景

中国において、演劇は地方劇として、伝播・変容する。1967年に上海市の嘉定県から出土した、明の成化年間に出版された「白兔記」の劇中の結婚の場面の歌(a)と、福満が収集した江西省九江市に現存する青陽腔という地方劇の油印抄本の対応する部分(b)である。

(a)成化本 白兔記

一撒東、……。撒帳南、……。撒帳西、……。撒帳前、……。

(b)江西省九江市青陽腔の油印抄本の 白兔記

撒帳東、……。撒帳南、……。撒帳西、……。撒帳北、……。

(a)(b)を比較してみると、曲辞は異なっているが、同じく婚礼の場面で、「東」「南」「西」「北/前」の言葉から始まる簡単な歌が歌われていることは共通している。この場面は現存する「白兔記」のどの版本にも無くて、収集した青陽腔の手抄本と、偶然地下から発掘された明初の成化年代の劇本の二つだけに共通して残存するのである。中国の地方戯は、場合によっては数百年前の古い演戯の形を残していることもある。演戯の歴史を考究するうえで、地方戯とその伝播・変容を現地調査することは、欠くことのできない重要なものであることがわかる。

中国から日本への「域外伝播」でも同様の興味深い事例が見られる。これは主に加藤の研究分野であるが、江戸時代の鎖国体制下で中国から日本に伝わったいわゆる「明清楽」の歌辞や旋律を調べると、中国では地方にのみ残る古い形が化石のように、日本に残っている。「明清楽」は音楽芸能だが、使用楽器や歌辞の物語性など、地方戯と共通する要素も多い。大正時代の日本人が、初めて見る梅蘭芳の京劇を受容できた一因も、江戸から明治にかけての日本人が明清楽という中国地方戯と相通ずる芸能と慣れ親しんでいたことにある。従前の地方戯研究では「域外・海外への伝播」という視点が薄弱であった。域内と域外の伝播を比較するわれわれの研究によって、中国演戯の伝播についての更に多くの事象の発掘と、それらに関する広い理論化ができるのではないかと。以上が、着想に至った背景である。

## 2. 研究の目的

中国伝統演戯・芸能文化について、文献調査と現地調査の両面から、総合的な研究を行う。

福満は主に安徽省池州地区を中心とする地域一帯を取上げ、最も重要な仮面戯・儺戯が伝承されている地域である側面と、南戯の重要な劇種である青陽腔の発祥の地である側面との二つの面から、戯曲作品の成立、伝播と変容、そして現状などを調査する。また多くの異本を収集し版本相互の比較検討する文献研究も行う。

また加藤は長崎県・沖縄県などの地点を取上げ、中国演戯・音楽が伝播した歴史、そこからの明清楽がどのように伝播・変容したか等を現地調査し、文献研究も行う。最後に、中国内・外の演戯・芸能の成立と伝播・変容のメカニズムを総合的に明らかにする。

## 3. 研究の方法

一つは、**現地調査**である。現地の地方戯を、場合によっては村落まで入って調査して、いつ、どこで、どのような人が担当し、どのような状況で等の、具体的な上演の状況や、その宗族がどこから移民してきたのかなどの社会的な問題も記録する。また、相手が許せば、劇本・楽譜などの関係資料を収集する。二つ目は、**文献研究**である。収集した劇本・楽譜などを、従来からよく知られていた歴史的文献資料などと相互に比較することによって、影響関係・先後関係などを調べ、伝播の具体的な状況を明らかにする。その後、それらを総合的に勘案して、伝播のルート・作品の変容の実態を明らかにし、最後にそのメカニズムを解明する。このような研究の調査地点としてふさわしい場所が、中国域内としては福満が行う安徽省池州市一帯であり、また中国域外としては加藤が主に行う沖縄県・長崎県である。

## 4. 研究成果

(1) 2015年

○提出した論文、

福満正博：中国近世戯曲小説中の異体字研究(8) - 元刊本・大都新編関目公孫汗衫記—(『明

治大学教養論集』508号) 元刊本雜劇「汗衫記」は、何処に在ったのか—併せて明抄本と元曲選本の性格を論じる(1)―(『明治大学人文科学研究所紀要』79冊) 中国伝統演劇の全国地域別の劇種と劇目の総覧(『明治大学教養論集』514号) 中国戯曲小説中の異体字研究(9-1) - 『新刊巾箱本蔡伯皆琵琶記』(『人文科学論集』第62輯)

加藤徹：「日中美意識の比較-方正・円順・自己相似の視点から」、雑誌『アステイオン』83号、公益財団法人サントリー文化財団・アステイオン編集委員会、「京劇はポストモダン—二・五次元芸術という考え方—」、三浦雅士 編(芳賀徹・高階秀爾・山崎正和 著 / 報告者=河本真理・岡田暁生・片山杜秀・斎藤希史・加藤徹・三浦篤)『ポストモダンを超えて』副題「21世紀の芸術と社会を 考える」平凡社

○国際学会、口頭発表：加藤徹、2015年獅城国際戯曲学術研討会(主催:新加坡伝統芸術中心)2015年11月7日-11月8日、会場：シンガポール、「从戯曲的舞台空間所見中日美意識的比較--關於方正、円順、自我相似以及対統一感的熱衷--」(中国語)

○海外出張：福満正博、2015年10月~12月：中国芸術研究院戯曲研究所(中国北京市)：学術交流、資料収集。

福満と加藤は、以上のような研究活動をした。

## (2) 2016年

○提出した論文

福満正博：「元刊本雜劇「汗衫記」は何処に在ったか—併せて明抄本と元曲選本の性格を論じる(2)」、『明治大学人文科学研究所紀要』(81)、「中国安徽省池州市の詩贊系仮面演劇、貴池本『薛仁貴征東伝』について」、『明治大学人文科学研究所紀要』(80)。元刊本の研究に取り組むと共に、「薛仁貴東征」の研究に取り組んだ。成化本「薛仁貴征遼伝」、『永楽大典』本の「薛仁貴征遼事略」等の語り物系統の異本と比較検討して、成果を上げた。

加藤徹：[解説]「京劇」北京 商務印書館・小学館 共同編集『中日辞典』第3版(小学館、2016年11月)付録、pp.2216-2219 「アジアの民衆の心を映す「京劇」の魅力語る」、月刊誌『潮』平成29年(2017)2月号(第696号)、pp.70-75。「道教」、週刊『エコノミスト』2017年5/2・9合併号(毎日新聞社)、特集「基本書を読む 宗教、神話、資本論」、pp.90-91 [解説]「京劇」北京 商務印書館・小学館 共同編集『中日辞典』第3版(小学館、2016年11月)付録、pp.2216-2219

○国際学会：日中演劇研究国際交流会を開催。日時：平成28年9月24日、25日。参加者：劉禎(中国中央芸術研究院戯曲研究所研究員) 山崎福之(京都府立大学文学部教授) 小松謙(同) 林香奈(同) 味方玄(観世流能楽師) 井口千雪(京都府立大学大学院生) 玉置奈保子(同) 加藤徹(明治大学)、福満正博(同)の9人。中国の代表的な研究者劉禎氏を招聘し、日本の古い能楽と、中国の演劇の研究の現状を報告して、有意義なものであった。国際共同研究：福満正博：中国中央芸術研究院戯曲研究所研究員の劉禎氏と、中国最古の演劇である目連戯の共同研究を進めている。

## (3) 2017年

○論文、

福満正博：「マックスウェーバーの儒教観初探」、ギリシア演劇の成立の契機として、ニーチェはディオニソスの要素を取り上げた。著名な社会学者 マックスウェーバーは『儒教と道教』の中で、中国思想にディオニソスの要素が欠けていることを指摘していることを示した。「元雜劇「梧桐雨」の校勘」では、「梧桐雨」劇の各版本の校勘を行った。選集としては『盛世新声』が、総集としては『改定元賢伝奇』が重要であることを示した。しかも「梧桐雨」は、口頭で伝承された可能性を明らかにした。

加藤徹：「漢詩賞玩と中国伝来音楽 日本人は漢詩をどう歌ってきたか」(『明治大学教養論集』通巻525号、2017年9月30日発行、pp.81-101) 中国の文学と音楽の域外伝播の特徴を、近世・近代日本の漢詩の歌い方を実例をあげて論じた。「日本における京劇の動態と課題 2017」(明治大学大学院教養デザイン研究紀要『いすみあ』10号、2018年3月31日、pp.221-261) 2017年の日本における京劇公演・関連イベントを網羅的に取り上げ、中国芸能の域外伝播のメカニズムと課題を論じた。「文革後の革命模範京劇—伝統京劇との連続性—」(愛知大学現代中国学会編『中国21 Vol.48』、2018年3月30日刊、pp.193-206)現代中国における「伝統」の特異性を論じた

○国際学会、福満正博：「第6回中国小説戯曲国際学会」で、「關於中国安徽省池州市の詩贊系仮面劇貴池本《薛仁貴征東伝》」を発表した。この発表は、楽曲系の作品は、戯曲や語り物となり、詩贊系の作品は語り物であると考えられてきたことに、補足するものであった。詩贊系の作品にも、演劇があること、また詩贊系の仮面劇があることを示した。

(4) 2018 年

福満、

著書：『海内外中国戯劇史家自選集、福満正博巻』（大象社、2018 年）

資料集の準備 安徽省池州市で収集した儼戯の劇本を活字化して、資料集として出す予定である。現在は、『太和章村、和番記』『邱村柯“劉文龍”、下集』『東山吳劉文龍』『縞溪曹、儼戯“劉文龍”』『章永芳、和番記』『風火劉、劉文龍』『西華姚、劉文龍』の 7 種について、活字化を進めた。次年度には完成する予定である。

翻訳本の準備 中国最古の演劇は「目連戯」と考えられている。「目連戯」も、儼戯の問題を考えるうえで、欠かせない問題である。現存する「目連救母」劇の作者鄭之珍も、池州市の出身である。この目連戯について中国の代表的な研究書である劉禎氏の『中国民間目連文化』の翻訳に取り組んでいる。

加藤徹、

紀要論文：京劇・崑曲など中国伝統演劇の日本公演の動態についての研究調査を以下の論文にまとめた。「日本における京劇の動態と課題 2018」明治大学大学院教養デザイン研究科紀要『いすみあ』11号,2019年3月31日,pp.143-104

研究会での発表：2月28日(木)成城大学で行われた中国・首都師範大学一行、成城大学(劉穎教授他)、電気通信大学(范建明教授)、明治大学(加藤徹)その他による日中詩吟文化比較の合同研究会で、加藤は日本に伝わった中国伝来音楽と詩吟について発表した。2019年7月にも再度、同様の合同研究会を東京で開催する予定である。

(5) 2019 年

福満：論文で「安徽省貴池儼戯劇本資料集(1)」、「安徽省貴池儼戯劇本資料集(2)」、「安徽省貴池儼戯劇本資料集(3)」、「安徽省貴池儼戯劇本資料集(4)」を発表した。資料集(1)は、「呉仲立曲本」と書か荒れたものである。資料集(2)は、「邱村柯」村落で収集したものである。資料集(3)は、「縞溪曹」村落で収集したものである。資料集(4)は、劉街郷で収集したものである。これらの劇本を一つ一つ文字化していくと、明らかになってくるのが少なくなかった。(1)~(3)は、曲が儼戯調とも言われる詩讚系の曲である。3・3・7句で始まる齊言体で、主に構成されている。また(4)では「高腔」と指定された曲が十曲ほどあり、これまでの三つの儼戯調とは質の異なる演劇であることが明らかになった。

加藤：研究成果の社会還元も兼ねて、明治大学東アジア文化研究所で中国の京劇・崑曲の関係者を明治大学に招き、以下の上演と講演を行った。(1)5月31日(金)中国北方崑曲劇院『牡丹亭』舞台上演、明治大学アカデミーコモンにて。(2)6月4日(火)崑劇特別講座 テーマ：崑曲『玉簪記・琴挑』について 講師：楊鳳一(北方崑曲劇院院長)。(3)7月8日(月)「琴芳梅蘭」梅蘭芳来日 100 周年記念の講演と上演、北京の梅蘭芳記念館との共同開催。7月9日に早稲田大学で行われた「梅蘭芳初来日公演 100 周年記念シンポジウム」にあわせて、中国語論文「1919 年当時日本人の素養と京劇首次訪日公演」(中国・梅蘭芳記念館日本・早稲田大学坪内博士記念演劇博物館 共編『東瀛品梅 紀念梅蘭芳首次訪日 100 周年 專題學術研討會 會議手冊』pp.19-27)および日本語論文「1919 年当時の日本人の素養と京劇初来日」(同・pp.28-36)を発表した。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計20件（うち査読付論文 7件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 8件）

1. 著者名 加藤徹	4. 巻 11号
2. 論文標題 日本における京劇の動態と課題 2018	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 明治大学大学院教養デザイン研究科紀要『いすみあ』	6. 最初と最後の頁 pp.143-104
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福満正博	4. 巻 528号
2. 論文標題 マックスウェーバーの儒教観初探	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『明治大学教養論集』	6. 最初と最後の頁 103-117
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福満正博	4. 巻 64輯
2. 論文標題 楊貴妃物語と目連物語（1）1 - 元雑劇「梧桐雨」の校勘	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 人文科学論集	6. 最初と最後の頁 31-49
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 加藤徹	4. 巻 525
2. 論文標題 漢詩賞玩と中国伝来音楽 日本人は漢詩をどう歌ってきたか	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『明治大学教養論集』	6. 最初と最後の頁 81-101
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 加藤徹	4. 巻 第10号
2. 論文標題 日本における京劇の動態と課題 2017	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 明治大学大学院教養デザイン研究科紀要『いすみあ』	6. 最初と最後の頁 221-261
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 加藤徹	4. 巻 Vol.48
2. 論文標題 文革後の革命模範京劇 伝統京劇との連続性	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 愛知大学現代中国学会編『中国21』	6. 最初と最後の頁 193-206
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福満正博	4. 巻 81
2. 論文標題 「元刊本雑劇「汗衫記」は何処に在ったかー併せて明抄本と元曲選本の性格を論じる(2)」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 明治大学人文科学研究所紀要	6. 最初と最後の頁 173-213
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福満正博	4. 巻 80
2. 論文標題 中国安徽省池州市の詩譚系仮面演劇、貴池本「薛仁貴征東伝」について	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 明治大学人文科学研究所紀要	6. 最初と最後の頁 143-219
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 加藤徹	4. 巻 696
2. 論文標題 アジアの民衆の心を映す「京劇」の魅力語る	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 月刊誌『潮』	6. 最初と最後の頁 70-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 加藤徹	4. 巻 5/2・9合併号
2. 論文標題 道教	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 週刊『エコノミスト』	6. 最初と最後の頁 90-91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福満正博	4. 巻 508
2. 論文標題 中国近世戯曲小説中の異体字研究(8) - 元刊本・大都新編関目公孫汗衫記	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 明治大学教養論集	6. 最初と最後の頁 pp.125 - 136
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 福満正博	4. 巻 79
2. 論文標題 元刊本雑劇「汗衫記」は、何処に在ったのか 併せて明抄本と元曲選本の性格を論じる(1)	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 明治大学人文科学研究所紀要	6. 最初と最後の頁 pp.233 - 288
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 福満正博	4. 巻 514
2. 論文標題 中国伝統演劇の全国地域別の劇種と劇目の総覧	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 明治大学教養論集	6. 最初と最後の頁 pp.103 - 180
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 福満正博	4. 巻 62
2. 論文標題 中国戯曲小説中の異体字研究 (9 - 1) - 新刊巾箱本『蔡伯皆琵琶記』	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 人文科学論集	6. 最初と最後の頁 pp.1 - 14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 加藤徹	4. 巻 83
2. 論文標題 日中美意識の比較 方正・円順・自己相似の視点から	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 アステイオン	6. 最初と最後の頁 pp203-219
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 加藤徹	4. 巻 1
2. 論文標題 京劇はポストモダン 二・五次元芸術という考え方	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『ポストモダンを超えて』	6. 最初と最後の頁 pp259-314
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 福満正博	4. 巻 543号
2. 論文標題 安徽省貴池儺戲劇本資料集(1)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 明治大学教養論集	6. 最初と最後の頁 1 - 41
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福満正博	4. 巻 544号
2. 論文標題 安徽省貴池儺戲劇本資料集(2)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 明治大学教養論集	6. 最初と最後の頁 197 - 238
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福満正博	4. 巻 66輯
2. 論文標題 安徽省貴池儺戲劇本資料集(3)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 人文科学論集	6. 最初と最後の頁 1 - 27
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福満正博	4. 巻 546号
2. 論文標題 安徽省貴池儺戲劇本資料集(4)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 明治大学教養論集	6. 最初と最後の頁 119 - 171
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計2件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 1件）

1. 発表者名 福満正博
2. 発表標題 關於中国安徽省池州市的詩贊体仮面戲劇貴池本《薛仁貴東征》
3. 学会等名 第6届中国小説戯曲国際研討会（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 加藤徹
2. 発表標題 从戯曲的舞台空間所見中日美意識的比較--關於方正、円順、自我相似以及対統一感的熱衷--
3. 学会等名 2015年獅城国際戯曲學術研討会
4. 発表年 2015年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 福満正博	4. 発行年 2018年
2. 出版社 大象出版社（中国）	5. 総ページ数 189
3. 書名 海内外中国戯劇史家自選集、福満正博	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	加藤 徹  (Katou Tohru)  (80253029)	明治大学・法学部・専任教授    (32682)	

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	古屋 昭弘  (Furuya Akihiro)  (70165497)	早稲田大学・文学部学院・教授     (32689)	